

ラオスにおける問題点と要望

区分	経由団体*	No	問題点	問題点内容	要望	準拠法	
9	輸出入規制・関税・通関規制	日機輸	(1)	高い輸送コスト・通関コスト	・輸送コスト・通関コストが高い。	・通関コストの不透明性は正。	
16	雇用	日機輸	(1)	人材不足	・熟練労働者が不足している。また、優秀な若手ホワイトカラーも不足している。	・高官留学制度活用等若手ホワイトカラーの育成、人材育成。	
24	法制度の未整備、突然の変更	日製紙 日製紙	(1)	植林関連の制度の不透明	・国からの植林用地リース、植林、伐採、および輸出に関する制度が不透明なため、実際の行政手続きは関係すると思われる全ての監督官庁が個別に同様の審査手続きを行う必要がある。時間と費用が非常に多くかかっている。 One stop service が設置されたというものの、実際には機能していない。 ・自社の資産である植林木を伐採輸送するにあたり、天然木に準じた行政手続きをしなければならない。また、必要とされる文書も似たような内容にも拘らず担当行政(森林局、商工局、税務局など)毎に個別に用意しなければならず、想像以上の時間と費用が必要である。	・制度の目的をはっきりさせ、効率的で明確な制度を構築してほしい。 ・ワンストップサービスの設置。 ・国の資産である天然木と法人 & 個人の資産である植林木は根本的に分けて管理されるべき。 ・申請書を共通 & 共有化するなどの工夫が必要(one stop service の設置)。	・土地法 ・森林法 ・関税法 ・関係大統領令 & 首相令 ・2010年2月12日付「植林木原木および製材品の輸出に関する」首相府通達 ・関連の MAF 大臣通達他
26	その他	日機輸	(1)	農業生産性の低迷	・農業生産性の低迷。	・IT、IoT を活用した農業生産性の向上。	
		日機輸	(2)	偏った産業構造	・農業、電力に偏った産業構造。	・第三次産業等付加価値の高い産業の育成、産業の多様化推進。	

* 経由団体: 各個社の意見がどの団体を経由して提出されたかを表したものであり、表示団体を代表する「主張」「総意」等を意味するものではありません。